



支援センターだより

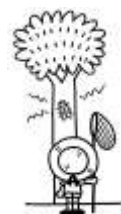


2011.7 発行 vol.81

梅雨空が続いていますが、如何お過ごしですか。沖縄の方では梅雨明けしたとの事、こちらの方はいつごろになるのでしょうか。

ひと月ほど前、センターの2階の窓から外を見ていたら、センター用の駐車場の後方部分に、竹が30センチほどによきによきと土から頭を出しているのを発見しました。「あー、あれはもう食べられないね」とスタッフと話していました。次の日の朝、その竹を見てびっくり。一日ですると伸びて、50センチほどに、また次の日もによきによきと伸び、毎日朝どんどん伸びていくのを見るのが楽しみになってきました。竹って伸びるのがこんなに早いものかとみんなで改めて驚いています。他の竹と離れたところに頭をだし、細く高く伸びてもしっかり立ってられるのは地下でしっかり他の竹とつながっているからでしょうね。今は隣のグラウンドのホームフェンスと同じぐらいに高く伸び、上の方で葉をつけ始め一人前の竹になってきています。地面に近い方も少し太くなったので、センターの車の駐車場の札をぶら下げさせてもらっていますが、伸びるたびに少しずつ札が上がっていくのは愉快でした。

今、ファミリーサポートの提供会員になるための養成講座が行われています。私も先日、参加させてもらいましたが、その席で参加された方々にどうしてこの講座に参加されたかお話を伺いました。



「自分の子どもが育ち、巣立ったので今度は地域の親子のお手伝いが出来れば…」

「子どもが小さい時にファミリーサポートのお世話になったので、今度は私もお手伝い出来るならば…」などの話があり、心温まるものがありました。ファミリーサポートは育児の援助を受けたい市民と援助をしたい市民の相互援助活動です。利用していた人がいずれは提供する人に、これこそ小平市の市民援助活動で「みんなで子どもの成長を見守る」という事ではないかなと思います。

人の子の成長は竹のように早くはありませんが、大人に見守られながら、泣いて、笑って…自分の気持ちをあらし、元気いっぱいになっていきます。でも大きくなるにしたがって駄々をこね、どうしてこんなことするのか時には大人を困らせることもあり、子育てって大変だなーと感じさせられることもありますよね。そして疲れてしまうことも…。

そんな時、ちょっと気持ちを切り替える事があってもいいのかなと思います。

小平市内にはファミリーサポートだけでなく、子育てのお手伝いをしますよという施設がいくつかあります。今、ちょっと困っている方、利用してみませんか。

また、少し時間が出来たかなと思っっている方、提供会員としてお手伝いを考えていただければと思います。竹の根が地下でしっかりつながって新しい竹を育てているように支援センターもこれからたくさんの方々につながりながら子育てのお手伝いをしていきたいと考えています。

武井まさ子

